

学校だより



八束っ子

「やさしく つよく かしこく」

八束小学校 検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/yatsuka-es/>

真庭市立八束小学校
第21号
令和2年10月6日
校長 山本 信子 発行



令和2年度の後半が スタートしました



朝夕涼しくなり、虫の音が秋の訪れを知らせてくれます。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋等、何をするにもよい季節を迎えます。

学校生活では、2学期の中間点であり、1年の中間点でもあります。今年度も半分が終わりました。後半の教育活動も職員一同力を合わせて取り組みます。どうぞよろしくお願いいたします。

親子で体験！わくわく防災ワークショップ 開催

9月26日の土曜授業は、「親子で体験！わくわく防災ワークショップ」を開催しました。子どもたちや保護者の方、地域の方、総勢約200人の参加がありました。この企画は、PTA研修育成部が中心となり、親子でできる体験型プログラムを通じて、有事の際の対応力を身につけると共に親子で、「自分たちの地域は自分たちで守る＝共助」の意識を高めたいと考え、企画しました。この企画は、当初5月末に行う予定でしたが、コロナ禍で9月末に延期しました。感染症対策として、可能な限りグループ人数が少なくなるよう考えたり、非常食の試食は家庭で行ってもらうよう計画の変更をしたり等、準備会を開き、その他対策についても進めてきました。

当日は、原則同じ地区のメンバーで構成されたグループに分かれ、体育館および校内の教室やホールをまわりながら参加者は、学びを深めることができました。

約3時間、しっかり学びと体験ができた今回の企画。大勢の方の御協力により、大盛況に終わることができました。お忙しい中、御協力くださった日本防災士会岡山県支部の皆様、真庭市消防団の皆様、一緒に参加してくださった保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。また、企画・進行・片付けと中心になって進めてくださったPTA研修育成部の皆様、リーダー役を快く引き受けてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

実施後のアンケートへの御協力もありがとうございました。お寄せいただいた声を来年度の活動へ生かしてまいります。





体育館は学びのブース。防災士の方から講話を聞いたり、消防団活動についての説明を受けたりしました。DVD視聴や段ボールベッドや簡易トイレ等、避難所開設用品の展示コーナーもありました。防災減災スタンプラリーにもチャレンジ！大人も子どもも自分だったらどうするか真剣に考えました。

図工室と理科室は、防災的な手ぬぐい活用術体験ブース。残った時間で新聞スリッパを作ったグループもありました。

音楽室と生活科室は、防災グッズ選び体験ブース。避難するための荷物づくりを制限時間3分間で行いました。どんな物を選んだかなぜ選んだかを聞いてみると、一人一人考えが違うことにも改めて気づきました。

ホールは、「災害時の非常食について知ろう」のコーナー。非常食にはたくさんの種類がありました。パンとご飯を家に帰って試食しました。「おいしかった。」の声が多かったです。

児童玄関を入ったところには、図書司書の田文先生がつくってくださった「防災の本コーナー」があります。

5年生 キャンプ ～津黒高原キャンプ場にて～



9月29日（火）30日（水）の2日間5年生21名が津黒高原キャンプ場で、キャンプファイヤーや飯盒炊飯を体験しました。密を少しでも避けるため宿泊棟を貸し切ったの実施となりました。天気を心配しましたが、無事に実施できました。蒜山校地の高校生とも交流ができました。学校内では行うことができない体験を仲間と共に行うことができた2日間です。キャンプファイヤーでは班ごとに考えたスタンプをみんなで楽しみました。火を囲んで歌やダンスでも盛り上がりました。5年生のアイディアや団結力が発揮された2日間でもありました。

保護者の皆様には、準備やスタンプの応援の御協力および実施にあたっての御理解等、大変ありがとうございました。

今週10月9日(金)は 参観日です

いつもの5時間目の授業時間とは異なります。場所（体育館・ホール・音楽室）も学年によって違いますし、時間帯で変わります。詳細は、各学年のおたよりでご確認ください。

専門家をお招きし、「八束の宝（文化財）」について学ぶ様子を参観ください。貴重な機会ですので、ぜひ一緒に学びましょう。